



プレスリリース

2026 年 7 月 16 日

フィリップ モリス ジャパン合同会社

IQOS 初の“グローバルフラッグシップ” 「IQOS フラッグシップ 銀座」、2026 年 9 月 4 日(金)にオープン ～ 日本の自然美と匠の精神が調和した、唯一無二の特別な空間が東京・銀座に ～

フィリップ モリス ジャパン合同会社(本社:東京都千代田区、社長:コスタス・サルヴァラス、以下「PMJ」)は、2026 年 9 月 4 日(金)、東京・銀座にて、新たに「IQOS フラッグシップ 銀座」をオープンする予定です。

今回オープンする「IQOS フラッグシップ 銀座」は、フィリップ モリス インターナショナル(以下「PMI」)における IQOS 初の“グローバルフラッグシップ”です。



「IQOS フラッグシップ 銀座」の外観イメージ

この“グローバルフラッグシップ”は、20 歳以上の喫煙者を対象とするコミュニティ、ローカルカルチャー、そして IQOS ブランドが交差する特別な空間です。各市場において象徴的なロケーションに位置し、その土地の文化や個性を尊重した唯一無二のデザインと洗練されたホスピタリティを通じて、コミュニティが集い、つながる場を提供します。また、五感を刺激する多彩な体験やブランドストーリーとの出会いを通じて、一人ひとりが自分らしい視点で IQOS を発見し、その価値を解釈できる空間でもあります。IQOS の世界観と 20 歳以上の喫煙者を結び、新たな発見やインスピレーションを創出するブランド体験の拠点となります。

「IQOS フラッグシップ 銀座」では、日本の自然が織りなす美しさと、四季折々に移ろう豊かな表情から着想を得るとともに、日本の伝統的なクラフトマンシップへの敬意を込め、伝統アートの要素を取り入れた空間デザインを採用しま

す。また、自然と匠の精神が調和した、ここでしか体験できない空間を提供します。

PMJ は、「伝統」と「革新」が共存し、新たな価値や文化を発信し続ける東京・銀座で「IQOS フラッグシップ 銀座」を展開することで、20 歳以上の喫煙者とブランドとの接点を創出し、今後も「煙のない社会」の実現に向けて、より満足度の高い製品およびサービスの提供に努めてまいります。

なお、東京における拠点である「IQOS ストア銀座」は、8 月 30 日に閉店する予定です。

「IQOS フラッグシップ 銀座」店舗概要

今回オープン予定の「IQOS フラッグシップ 銀座」の店舗概要は以下の通りです。

正式名称	IQOS フラッグシップ 銀座（英語名：IQOS Flagship Ginza）
所在地	東京都中央区銀座 1 丁目 8-14 銀座 YOMIKO ビル 1 階～2 階
オープン日時	2026 年 9 月 4 日（金）11:00～
営業時間	11:00～20:00（アフターケア＆ラウンジ 受付終了時間 19:30）
新店舗の位置づけ	IQOS 初となる“グローバルフラッグシップ”

報道関係者用問い合わせ先

フィリップ モリス ジャパン合同会社 広報事務局（電通 PR コンサルティング 内）
野澤 TEL 080 4340 6308 / 飯村 TEL 070 2801 9954 / 柏木 TEL 080 2395 9506
MAIL pmj-pr@group.dentsuprc.co.jp

PMI の企業ビジョン:「煙のない社会」のグローバルリーダー

フィリップ モリス インターナショナル(PMI)は、「煙のない社会」の実現を目指し、長期的に紙巻たばこやニコチン以外の製品を含むポートフォリオの進化に取り組む国際的消費財企業です。現在の製品ポートフォリオは、主に紙巻たばこおよび煙の出ないたばこ又はニコチン含有製品(以下「煙の出ない製品」)で構成されています。PMI の煙の出ない製品は、世界で 105 市場以上における主要都市ないし全国規模で展開しており、2025 年 12 月 31 日時点で、全世界で 4,300 万人以上もの成人喫煙者(日本においては 20 歳以上、以下同)が PMI の煙の出ない製品を使用していると推定されています。煙の出ない製品に関連する事業は、PMI の 2026 年第 1 四半期において、純売上の 43%を占めています。PMI は 2008 年以降、160 億米ドルを投資し、紙巻たばこの販売終了を目指して、喫煙を続ける成人喫煙者のために革新的な煙の出ない製品の開発、科学的実証、市販化を行っています。これには、特に前臨床システム毒性学、臨床・行動研究、市販後調査の分野における世界トップクラスの科学的評価能力の構築が含まれます。科学的根拠に基づく厳格な審査の結果、米国食品医薬品局(FDA)は、スウェディッシュマッチ社の製品 General snus および経口ニコチンパウチ ZYN、ならびに PMI 社の一部の IQOS デバイスとたばこスティックの販売を許可しました。これは、それぞれのカテゴリで初めての許可となります。また、一部 IQOS デバイスとたばこスティック、ならびに General snus は、初めてのリスク修飾(軽減)たばこ製品(MRTP: Modified Risk Tobacco Products)として FDA の許可を取得しました。ライフ・サイエンス分野における強固な基盤と重要な専門性を持つ PMI は、ウェルネス分野への拡大を長期的な目標としており、シームレスな健康体験の提供を通じて生活をより豊かにすることを目指しています。

詳細は、PMI のウェブサイト(www.pmi.com)および PMI サイエンス(www.pmiscience.com)をご覧ください。

「煙のない社会」を目指す PMJ について

フィリップ モリス ジャパン(PMJ)は、PMI の日本における子会社です。日本で販売される PMI 製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJ は 1985 年に日本で営業を開始して以来、事業拡大と成長を続け、全国に約 1,600 人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で 45%のシェア(2026 年第 1 四半期決算)を有する、加熱式たばこを中心に市場を牽引する企業です。PMJ は PMI が掲げる「煙のない社会」を目指す取り組みをここ日本で推進しています。PMJ の「煙のない社会」の実現を目指し、加熱式たばこのみ利用可能な「煙のない」施設や観光地などを全国で広げる取り組みに関して詳しくは PMJ ウェブサイトをご覧ください: <https://www.pmi.com/markets/japan/ja/home>